

令和 1（2019）年さけます来遊状況（第 4 報：11/30 現在）

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人水産研究・教育機構
北海道区水産研究所 さけます生産技術部

- 来遊数は 109 万尾 [前年同期比：16%、平年*1 同期比：14%] で、平成以降（1989 年以降）で最も少ない
- 全道で 1 億 2,777 万粒の種卵を確保

*1：平年とは、平成元（1989）～平成 30（2018）年の平均値

（北海道）

本年度の北海道のカラフトマス来遊数は 109 万尾 [前年同期比：16%、平年同期比：14%] となりました。

カラフトマスの来遊数は隔年変動することが多く、北海道では平成 16（2004）年以降、奇数年が豊漁年、偶数年が不漁年となっていました。平成 19（2007）年以降は、奇数年の漁獲は年々減少しています。本年度は、最近の奇数年である平成 29（2017）年を下回り、平成以降（1989 年以降）で最も少ない来遊数となりました（表 1 および図 1）。

来遊年	11/30現在(最終)	来遊年	11/30現在(最終)
2006(H18)	559	2007(H19)	1,491
2008(H20)	704	2009(H21)	1,111
2010(H22)	731	2011(H23)	553
2012(H24)	221	2013(H25)	325
2014(H26)	158	2015(H27)	210
2016(H28)	890	2017(H29)	123
2018(H30)	683	2019(R1)	109
		平年	804

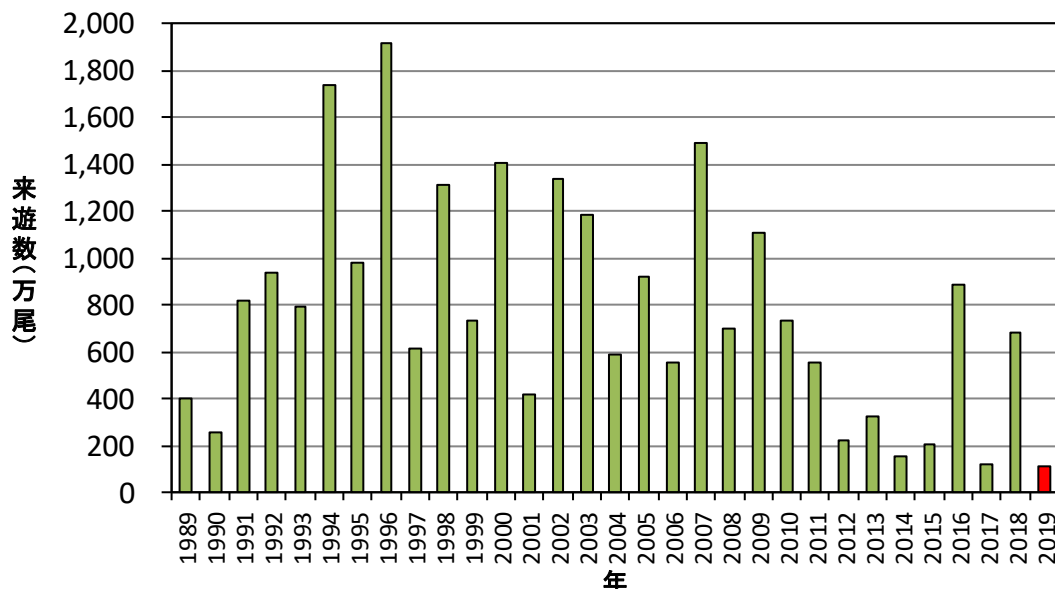


図 1. 7 月 1 日～11 月 30 日までのカラフトマス来遊数（累計値）。2019 年は速報値。

地域別にみると、日本海側（オホーツク海区および日本海区）では104万尾〔前年同期比：16%、平年同期比15%〕、太平洋側（根室～えりも以西海区）では5万尾〔前年同期比：13%、平年同期比4%〕と、両地域ともに前年および平年を大きく下回りました。

河川捕獲数は22万尾〔前年同期比：24%、平年同期比：26%〕と前年及び平年を大きく下回り、平成以降（1989年以降）で2番目に少なくなりました（表2）。

採卵数については1億2,777万粒と、前年同期の86%を確保しました。これは本年の採卵計画数である1億7,310万粒の74%にあたり、日本海側では計画数を確保しましたが、太平洋側では計画数を下回ったため、全体として採卵計画数を下回りました。

捕獲年	11/30現在(最終)	捕獲年	11/30現在(最終)
2006(H18)	94	2007(H19)	144
2008(H20)	92	2009(H21)	131
2010(H22)	87	2011(H23)	59
2012(H24)	26	2013(H25)	48
2014(H26)	26	2015(H27)	24
2016(H28)	76	2017(H29)	18
2018(H30)	92	2019(R1)	22
		平年	85